

接続詞と節の見取り図

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：節を（ ）で囲んで外し、席に入っているか足しているだけかを見分けられる

学び直しから始めるクラス 偏差値のめやす ～40程度 この版は中学で出会った4つのはたらき (that・if / whether・疑問詞・副詞節) を並べ直します

気づき AとB、どちらも when の節がある。でも文の中でののはたらきが正反対。どこがちがう？ (30秒考えて、となりの人と答え合わせ)

A	When the concert starts, please turn off your phone.	コンサートが始まったら、携帯の電源を切ってください。
B	Nobody knows when the concert will start.	コンサートがいつ始まるのか、だれも知らない。

たしかめ方はひとつだけ—その節を（ ）で囲んで、外してみる。Aは外しても Please turn off your phone. が残るので、when の節はいつの話かを足しているだけ。Bは外すと Nobody knows. だけになって「何を」が消えるので、knows のうしろの席そのものです。前者を「副詞のはたらきをする節」、後者を「名詞のはたらきをする節」と呼びます。

整理 4つのはたらき (節が文のどこに立つか)

形	作り方	表すこと	例文
名詞節① that	that + S + V (席に入る)	～ということ	I think that he is right. 彼は正しいと思う。
名詞節② if / whether	if / whether + S + V	～かどうか	I asked whether the shop was open. その店が開いているかたずねた。
名詞節③ 疑問詞	疑問詞 + S + V (疑問文の語順にしない)	いつ・どこで・なぜ～か	Tell me what you want. 何がほしいか教えて。
副詞節	when / until / because / though + S + V	いつ・なぜ・～だけれど	Though he was tired, he kept running. 疲れていたが、彼は走り続けた。

この4つが読めれば、この単元はまず十分です。手順はひとつだけ—その節を（ ）で囲んで、外してみる。外しても文が残れば、その節は「いつ・なぜ」を足しているだけ。外すと文が壊れれば、その節は動詞のうしろなどの席そのものに入っています。もうひとつの約束が疑問詞の節は S + V の語順 (× where is the station)。文全体が疑問文でも、節の中はひっくり返しません。

確認 () 内から正しいほうを選ぼう。 **知識・技能**

- (1) Everyone believes (that / what) she will win the contest.
- (2) I asked her (because / whether) she had finished her report or not.
- (3) Tell me (what / that) you want for your birthday.
- (4) Do you know where (the post office does / the post office is) ?

接続詞と節の見取り図 | 解答とつまずきポイント

確認の解答

(1)	that	believes のうしろの席に「彼女が優勝する」という中身を入れる形。 that は席に入れるための合図。
(2)	whether	「～かどうか」は whether か if。 whether はかたい場面や書き言葉で好まれる。
(3)	what	「何が」に当たる語が節の中に足りないので疑問詞 what。 tell の2つ目の席に入る。
(4)	the post office is	疑問詞の節は S + V の語順 。文全体は疑問文でも、節の中はひっくり返さない。

つまずき② 疑問詞の節を疑問文の語順にする

文全体が疑問文でも、**節の中は S + V のまま**です。日本語では語順が変わらないので、英語だけで起きる事故。声に出すときも「疑問詞のあとは主語から」と唱えると定着します。

× Could you tell me when does the next bus leave? → ○ Could you tell me when the next bus leaves?
when の節は tell の2つ目の席に入っている。席に入るときは does を使わず、動詞をそのまま置く。

つまずき① 接続詞の顔で節の種類を決めてしまう

「if は条件」「that はということ」と語で覚えると、同じ語が両方に使われる文で止まります。決め手はいつも**外しても文が残るか**。残れば足しているだけ、壊れれば席に入っています。

× I am not sure if you will like it, we can change the plan. → ○ If you do not like it, we can change the plan.
「気に入らなければ計画を変えられる」と言いたいなら、if 節は外から足す側。I am not sure ... と始めると席に入る読みになり、2つの文がつながらなくなる。

授業のひとこと 止まる原因は文法ではなく**どこからどこまでが節か**です。最初の2問は「接続詞に○、そこから文末（またはコンマ）までを（ ）で囲む」を全員でやってから解かせてください。囲めた瞬間に、外せるかどうかは自分で判断できます。

